

公共事業再評価調書（再々評価）

主管課： 漁港漁場課

1 事業概要	事業名： 漁港環境整備事業		前再評価年度：平成10年度		
	事業種別： 漁港環境整備事業	事業主体： 沖縄県		(H4 ~ H15)	
	事業箇所： 糸満市	根拠法令： 漁港漁場整備法		事業期間： H4 ~ H17	
	(整備目的)	(1,400) 総事業費(百万円):2,600	費用内訳： 補助 1/2	事業量： 環境整備一式	
1-2 前再評価以降の計画変更	糸満市街地周辺は、自然の海浜が少なく、市民が日常レベルで海に接する機会はほとんどない状態である。このため市民開放型のビーチとして整備するとともに、観光拠点施設として活用する。				
2 再評価該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 再評価後一定期間（5年）を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input type="checkbox"/> ③ その他（ ）				
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他（ ） 事業規模を拡大したことで事業工期の延長となり再評価後5年を経過した。				
4 事業の進捗状況 (H15. 7時点)	項目	事業費(百万円)	整備 (ha)	用地取得(千㎡)	
	計画	2,600	12.2		
	実施済	1,577	0.1		
	率	61%	1%	#DIV/0!	
4-2 前再評価以降の主な進捗	離岸堤、突堤、護岸等の環境型整備を進め、養浜、休憩所、植栽等の整備を行った。				
5 事業効果の評価指標 (検討年 50年) (基準年 H15) (単位: 百万円)	① 生活環境向上	277		① 事業費	2,600
	② 余暇機能向上	13,412		② 維持管理費	0
	総便益	13,689		総費用	2,600
	基準年換算 (B)	5,655		基準年換算 (C)	2,881
	費用便益比 (B/C) = 5655 / 2881 = 1.96				
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済： 本地域は隣接するフィッシャリーナが平成17年度完了を予定しており、ビーチの供用開始もフィッシャリーナの供用開始に合わせて早期整備を行う必要がある。 ② 地元・自治体： 糸満市民が気軽に利用出来るビーチの早期整備の要望が高い。 ③ 利害関係者： 特になし				
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 本地域一帯は糸満地域新マリノバーク拠点交流整備地域として位置付けられ、ふれあいビーチ、フィッシャリーナ、造船団地、リゾートホテル等の一体的な整備が要求される。その為にも特にフィッシャリーナとふれあいビーチの早期整備が必要である。 ② 事業の効率性： 事業の進捗はほぼ計画通り進捗しており、現計画で進めていく。 ③ 事業効果の発現状況： 現在外郭施設はほぼ完了し、養浜、植栽、休憩所、遊歩道等の整備が一部完了していることで、早期の効果発現が期待されている。				
8 今後の対応方針・見直し	① 事業計画等： 平成17年度供用開始を予定しており、平成17年度の完成を目指す。 ② 対住民関係： 今後も糸満市、糸満市土地開発公社、漁協等と協力しながら整備を図っていく。 ③ 執行体制等： 現在の組織体制で特に問題なし。				
9 評価	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止				
10 その他 (前再評価での主な意見等)	費用対効果を最新の統計資料及び現実的な数値で見直し、再検討してほしい。				

* 1事業概要 の上段()は前再評価時点の計画